【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【公開番号】特開2003-114291(P2003-114291A)
【公開日】平成15年4月18日(2003.4.18)
【出願番号】特願2001-310229(P2001-310229)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ１２Ｂ　5/00
【ＦＩ】
　Ｇ１２Ｂ　5/00　　Ｔ

【手続補正書】
【提出日】平成16年10月1日(2004.10.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
測定対象物を載せるステージと、
前記ステージを移動させる円形ハンドルと、
前記円形ハンドルに連動して回転するように配設されるロータリーエンコーダと、
前記ロータリーエンコーダからの回転位置出力信号をパルス信号に変換する制御手段と、
前記制御手段からのパルス信号により前記ステージを駆動する駆動手段と、
を具備したことを特徴とする電動ステージ移動機構。
【請求項２】
前記ステージを載置するベースと、
前記ベースに対して垂直方向に立設されるコラムと、
前記コラムに取り付けられている顕微鏡観察部を備え、
前記円形ハンドルは、前記ベースの前面に配置されていること
を特徴とする請求項１記載の電動ステージ移動機構。
【請求項３】
前記円形ハンドルの配置を任意に設定可能としたこと
を特徴とする請求項１又は２記載の電動ステージ移動機構。
【請求項４】
前記ロータリーエンコーダと前記駆動手段の回転数の比率を変更する切替え手段を備え、
前記制御手段は、前記切替え手段で変更された比率に応じて前記パルス信号を変更すること
を特徴とする請求項１記載の電動ステージ移動機構。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
（１）本発明の電動ステージ移動機構は、測定対象物を載せるステージと、前記ステージを移動させる円形ハンドルと、前記円形ハンドルに連動して回転するように配設されるロータリーエンコーダと、前記ロータリーエンコーダからの回転位置出力信号をパルス信号に変換する制御手段と、前記制御手段からのパルス信号により前記ステージを駆動する駆

動手段と、を備えることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
（２）本発明の電動ステージ移動機構は上記（１）に記載の構成であり、かつ前記ステージを載置するベースと、前記ベースに対して垂直に立設されるコラムと、前記コラムに取り付けられている顕微鏡観察部を備え、前記円形ハンドルは、前記ベースの前面に配置されている。
（３）本発明の電動ステージ移動機構は上記（１）又は（２）に記載の構成であり、かつ前記円形ハンドルの配置を任意に設定可能としている。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
（４）本発明の電動ステージ移動機構は上記（１）に記載の構成であり、かつ前記ロータリーエンコーダと前記駆動手段の回転数の比率を変更する切替え手段を備え、前記制御手段は、前記切替え手段で変更された比率に応じて前記パルス信号を変更する。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
（１）本発明の電動ステージ移動機構によれば、ステージの移動は、円形ハンドルの回転に連動するロータリーエンコーダからの信号を制御手段で駆動手段のパルス信号に変換されることによって行われる。そのため、手動で回転される円形ハンドルの動きが直接的に電動ステージの移動距離及び速度に反映されるので、測定対象物を測定位置に移動させる際に所定の位置で電動ステージを停止させる操作が容易になる。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
（２）（３）本発明の電動ステージ移動機構によれば、円形ハンドルの配置をステージの位置及び大きさに影響されず、操作者にとって操作し易い位置に配置することができる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
（４）本発明の電動ステージ移動機構によれば、円形ハンドルの回転数と駆動手段の回転数すなわち電動ステージの移動速度との比率を可変できるため、低速で精密な移動を行う場合と高速で長距離な移動を行う場合のそれぞれに適した操作性を得られる。